

三館連携10周年によせて



津山市長
宮地 昭範

任期 平成30年2月26日まで



美作大学長
鶴崎 実



津山工業高等専門学校校長
則次 俊郎

任期 平成30年3月31日まで

美作大学図書館及び津山工業高等専門学校図書館と津山市立図書館の三館による相互協力に関する協定書締結から10周年を迎えることを心よりお慶び申し上げます。

平成20年4月に協定を締結して以来、連携を通じた教育、学術並びに文化の発展に資することを目的に、様々なサービスの提供に取り組んでまいりました。

なかでも、貸出資料の相互受取や返却、学園祭における自動車文庫の貸出、教授による市立図書館での講演会など、図書館の利便性向上と、各学校と地域住民とのつながりの醸成、市民の生涯学習意欲の向上など、多方面にわたり大きな成果が出てきていると感じております。本市としましても、より一層の生涯学習の推進を図るため、知の拠点としての図書館を中心としたまちづくりに取り組んでまいりたいと考えておりますので、各校並びに市民の皆様のご支援とご協力を願い申し上げます。

津山市立図書館、津山工業高等専門学校図書館と美作大学図書館での相互協力を定めた協定締結から10周年を迎えたこと、心よりお慶び申し上げます。

申すまでもなく、津山市立図書館は公立として、津山工業高等専門学校図書館は国立として、そして本学図書館は私立の図書館として設立されました。成り立ち、奉仕する対象、運営母体がそれぞれ異なる3つの図書館ではありますが、共に津山地域の教育・学術・文化の発展に資することを願い、この協定は結ばれました。10年の長きに渡り協力関係が続いたことは大変素晴らしいことであり、図書館をご利用いただきました皆様と、三館の連携にご協力いただきました関係各位に厚くお礼申し上げます。

これからも、津山地域の「知」の拠点として、高等教育、生涯学習を推進する三館の連携事業がますますの発展を遂げよう、期待します。

津山市、美作大学および津山高専の三図書館連携協定締結から10周年を迎えたこと、謹んでお慶び申し上げます。

図書館は静謐な読書環境と多くの情報を提供してくれます。絶版になった本や思ひぬ本に出会うことができ、また、インターネットによる検索や図書館同士の情報ネットワークが構築できます。本連携協定はこのようなネットワークによる相互利用サービスを提供するものです。

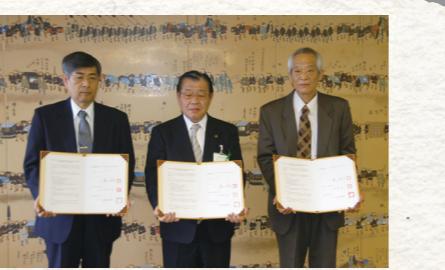
個々の図書館では財源やスペースの制約から所蔵できる本や資料に限りがありますが、相互利用により活用分野が大きく広がります。三図書館はそれぞれの役割に応じて所蔵する図書の位置づけが異なり、例えば、津山高専では、理工学や科学技術に関する図書が豊富にあります。三館連携による総合図書システムが、今後とも地域知の向上に益々効果的であることをお祈りします。

三館連携 ～10年の歩み～



2007年5月29日

美作大学図書館と津山市立図書館の相互協力に関する協定締結



2008年4月18日

三館（津山市立図書館・美作大学図書館・津山工業高等専門学校図書館）の相互協力に関する協定締結



2008年10月8日

三館と市内6高校の図書館の相互協力に関する協定締結



2008年10月12日

白梅祭（美作大学）ぶっくまる巡回
※毎年継続



2008年11月3日

弥生祭（津山高専）ぶっくまる巡回
※毎年継続



2011年11月3日

図書館支援学生交流会開催（美作大学・津山高専・津山高校）
※毎年継続



津山市立図書館、美作大学図書館、津山工業高等専門学校図書館の三館は、2008年4月18日に相互協力に関する協定を結びました。

この協定により、大学生や高専生、教職員だけでなく、一般市民の皆様も、以下のようなサービスを受けることができます。

- 津山市立図書館の本を取り寄せ、大学図書館や高専図書館で借りる
- 津山市立図書館で借りた本を、大学図書館や高専図書館で返却する
- 津山市立図書館で、大学図書館や高専図書館の本を借りる＆返却する

また、この相互協力の一環として、各種講演会を共催したり、それぞれの学園祭に津山市立図書館の自動車文庫ぶっくまるが来学したりするなど、図書館の利用促進・文化振興に努めています。



講演会（津山市立図書館・美作大学共催）



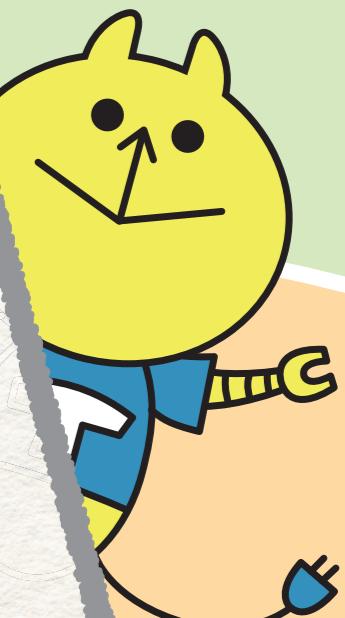
美作大学児童文化研究部による読み聞かせ



図書館支援学生による交流会（会場：美作大学図書館）



第1回ビブリオバトル



to the future...